



# 建築人

1

2020



大阪ホンマもん

# 建築人

1  
2020

## 目次

|    |                               |
|----|-------------------------------|
| 2  | 大阪ホンマもん                       |
| 4  | インフォメーション・事業案内                |
| 6  | 動静レポート                        |
| 7  | Topics                        |
| 8  | Gallery 建築作品紹介                |
|    | 田島童園                          |
|    | 設計 創間社+テンフォーテン 施工 トータルトーク     |
|    | グランデ元町 Grande Motomachi       |
|    | 設計・監理 HTAデザイン事務所 施工 栗本建設工業    |
|    | 高槻の家                          |
|    | 設計 大西憲司設計工房 施工 西友建設           |
| 11 | 記憶の建築 松隈 洋                    |
|    | 東京都葛西臨海水族園 一九八九年              |
|    | 先駆的な環境造形の行方                   |
| 14 | 第39回大阪都市景観建築賞（愛称 大阪まちなみ賞）入賞作品 |
| 22 | 理事会報告 建築相談室から 編集後記            |

## 二〇二〇年（令和二年）年頭所感

公益社団法人大阪府建築士会  
会長 岡本 森廣



新年 明けましておめでとうございます。  
建築士法に規定された大阪府建築士会の主な活動は、建築士の知識の研鑽や技術の向上を図ることはもとより、公益社団法人として地域社会に根ざした社会貢献活動の重要性が増幅・拡大しております。

近年全国的に頻発かつ甚大化している地震や台風・豪雨・土砂崩れ等による災害は市民の生命と財産や日常生活を脅かし、建築士による建築物の応急危険度判定や建築相談活動および罹災証明調査協力などは、「建築士のあり方」を直接市民に訴える活動に繋がりが、建築士会の社会貢献活動はあらゆる場面で常に注目されているところです。

建築士会の活動は、地域社会を支え、行政と共に相互に協力し合うことで大きな力を生み出し、市民と協働し認知されることで建築士の重要性が増し、より具体的な行動を社会に明確に示すことが重要です。

一方で国際的な視野に立ち、釜山広域市建築士会、香港工業總會、上海市建築学会と相互交流の協定を締結し、またベトナム建築士会とも交流を開始すべく準備を進めており、特に若年層の建築士のための海外における活躍の橋渡しとなるべく国際交流を展開してまいります。会員の皆様には、今後とも本会の公益目的事業の推進にご理解とご支援をお願い申し上げます。

## 大阪ホンマもん解説

写真 田籠哲也 文 牧野隆義

大阪南港は、平成二年（一九九〇年）に海遊館などの商業施設が出来てから、多くの団体客が足を運ぶようになり、今では平日も外国人客が訪れ大いに賑わっている。しかし、同じ築港エリアの南側は状況が違ふ。今回は少し環境が変わりつつある「築港赤レンガ倉庫」を取りあげる。

明治初期の大阪開港当初は、川幅が狭く深さも浅かったため大型船が入港できなかった。そこで市は明治三〇年（一八九七年）より港湾整備事業を順次進め、その築港事業を住友財閥が引き受け、護岸整備とともに住友倉庫により赤レンガ倉庫が計画された。その後、築港利用が増大し、多くの工場や倉庫などが建設され大いに賑わった。

建物の設計は、住友合資会社工作部建築課の日高胖氏が担い、大正一二年（一九二三）に竣工した。建物規模及び構造は、二階建ての煉瓦造でつくられた。

しかしながら戦後、物流の主流がコンテナ輸送へと変わると南港コンテナ埠頭に主役を奪われ、倉庫の役割を終えて平成一一年（一九九九年）大阪市に移管された。

その後、赤レンガ倉庫をアート活動の拠点にアーツアポリア事業なども行われたが、平成一八年（二〇〇六年）に耐震強度不足等の問題で撤退を余儀なくされた。

長らく利用されていなかったが、クラシックカーの動態保存を行う企業が倉庫を改修し、平成二七年（二〇一五年）に「ジューライオンミュージアム」として運営している。南港と共に湾岸を盛り上げてもらいたい。

会場 綿業会館 本館3階中会場  
定員 40名程度  
参加費 建築士会会員、ヘリマネ育成講座修了者・受講者、学生500円  
会員外1,000円

大阪府ヘリテージマネージャー／ステップアップ講座(スキルアップ講習)  
「歴史的都市性の価値を保全する変化」  
2/13 CPD2単位(予定)

歴史的都市空間の持続可能な変化とは何か、都市の歴史や都市性を保全しつつ、次の時代の街並みへとつながる変化(開発)のあり方とは何かを船場などの事例を通じて考えます。  
日時 2月13日(木) 18:30~20:30  
会場 大阪倶楽部3号会議室  
講師 小浦久子(神戸芸術工科大学芸術工学部環境デザイン学科教授)

定員 40名程度  
参加費 本会会員、ヘリマネ育成講座修了者・受講者、学生500円  
会員外1,000円

国土交通省補助事業  
家を売るとき買うときの住まいの健康診断セミナー  
1/28

住まいの健康診断である「建物状況調査」が法律で位置づけられました。本セミナーでは、弁護士・建築士・宅建士・保険取扱者が、安心して既存(中古)住宅の売買をするためのヒントをお伝えします。一般消費者の方を対象としたセミナーですが、どなたでもご参加いただけます。  
日時 1月28日(火) 14:00~16:00  
(開場13:30)  
会場 大阪府建築健康会館6階ホール  
定員 100名(定員に達し次第締切)  
受講料 無料

国土交通省補助事業  
改正民法に備える! 建物状況調査・既存住宅売買瑕疵保険活用セミナー  
2/13

2020年4月の民法改正において「瑕疵担保責任」の規定が無くなり、新たに「契約不適合責任」が定められることで、建物状況調査や既存住宅売買瑕疵保険の活用が求められます。本セミナーでは、弁護士・建築士・宅建士・保険取扱者が、それらの内容やメリット等について今回の講習用に作成したテキストを用い、詳しく解説します。なお、宅建業者の方を対象としたセミナーですが、どなたでもご参加いただけます。  
日時 2月13日(木) 14:00~16:00  
(開場13:30)  
会場 ドーンセンター7階ホール  
定員 500名(定員に達し次第締切)  
受講料 無料

職人シリーズ第7弾「瓦」  
淡路瓦工場・探掘現場見学会  
2/8 CPD3単位(予定)

地域委員会建築士の会南河内では和風住宅建築についての講習会を開催します。今回は瓦工場を見学し、瓦屋さんからお話を聞いて木造住宅の新たな発見と瓦の可能性を再発見します(本福寺水御堂なども見学します)。  
日程 2月8日(土)  
時間 近鉄なんば駅(北側道路側)  
8:30集合 18:30解散予定  
会場 大栄窯業(株)  
参加費 会員6,000円 会員外6,500円  
定員 22名(申込先着順)

平成31年度文化遺産総合活用推進事業  
「はじめよう、文化財の活用」  
1/25、2/2、2/15

本講座は毎回異なる国の登録有形文化財を会場とした「まちあるき」や「ワークショップ」といった体験型の講座です。また其々の文化財所有者からは文化財の保存及び活用の取組事例や課題などを伺います。体験を通じての疑問や意見を所有者や講師との質疑応答で解決しながら文化財の活用を通じた保存活動ができる力を磨いていただけます。  
1/25(土) 心光寺・書画・篆刻で観音廻り  
2/2(日) 三木楽器本店ビル:  
船場で講話を体験  
2/15(土) 願得寺:能にふれる  
※時間 13:30~16:30  
(1/25は14:00~17:00)  
募集 各回24名(定員に達し次第締切)  
参加費 各回1,500円

(公社)大阪府建築士会・大阪弁護士会共催  
建築紛争セミナー4(鑑定業務支援委員会セミナー)  
「雨漏り~調査・補修・法的手続き~」  
2/4 CPD2単位(予定)

本会では建築紛争解決や鑑定に必要な専門知識をもつ人材の育成に力を注いでいます。今回は雨漏りの調査方法やその問題点、調査費用・補修方法・補修費用、雨漏り事件処理の難しさなどの疑問について、弁護士と建築士の対談方式で説明いたします。  
日時 2月4日(火) 18:00~20:00  
会場 大阪弁護士会館  
(大阪市北区西天満1-12-5)  
定員 100名(定員に達し次第締切)  
参加費 無料

大阪地域貢献活動センター  
2020年度助成対象活動募集

建築士と地域住民等が連携して進めるまちづくりなどの地域貢献活動に対して、本会が活動費の助成などを行います。

募集締切 3月19日(木)  
対象とする活動  
原則として建築士と地域住民等で構成する団体が、地域住民等と連携して進める地域貢献活動で、営利を目的としない活動。  
助成額 1件の助成額は30万円を限度  
※募集案内を今月号に同封しています。

## Administration

行政からのお知らせ

令和元年度建設リサイクル法説明会(第2回)  
1/14

「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)」のほか、建築物等の解体等作業に伴うアスベスト関係法令等に関する説明会を開催します。  
主催 大阪府内建築行政連絡協議会建設リサイクル部会  
(大阪府と建築主事を置く府内17市で構成)  
日時 1月14日(火) 13:30~16:30  
(受付開始13:00)  
会場 守口市役所新庁舎1階市民会議室  
守口市京阪本通2-5-5  
定員 180名  
内容 (1)建設リサイクル法の概要について  
(2)建設業法における解体工事業について  
(3)労働安全衛生法、石綿障害予防規則について  
(4)大気汚染防止法及び大阪府生活環境の保全等に関する条例について  
(5)建設廃棄物の適正処理と再資源化について  
(6)PCB廃棄物等の適正管理について  
参加費 無料  
申込期間 11月25日(月)~1月6日(月)  
(ただし、定員になり次第締切)  
問合 大阪府住宅まちづくり部建築指導室  
審査指導課開発許可グループ  
Tel.06-6941-0351(内線3092)

これまでの経緯・活用のしくみ、今後の展開等について、解説いただきます。  
主催 (一社)関西インテリアプランナー協会  
日時 1月22日(水) 17:45~20:00  
講演 千田尚一(株)竹中工務店設計本部  
BIM戦略グループ(副部長)  
会場 TOTOテクニカルセンター大阪  
大阪市中央区久太郎町3-6-8  
御堂筋ダイワビル2階  
定員 80名(定員に達し次第締切)  
参加費 本会会員1500円 一般2,000円  
申込締切 1月16日(木)  
問合 (一社)関西インテリアプランナー協会  
Tel.06-6266-5735

講習会 プレストレストコンクリート造建築物の保有水平耐力計算指針(大阪開催)  
2/6

高さ31mを超えるPC建築物では、保有水平耐力計算(ルート3b)が行われていますが、これに対応する指針がなかったため、このたび「プレストレストコンクリート造建築物の保有水平耐力計算指針(案)・同解説」が刊行されました。本指針(案)の大きな特徴として、①中地震を対象とした一次設計では損傷限界応力度による部材チェックを行う、②部材種別をPC梁や柱の実験データをもとに明確にした点が挙げられます。この刊行の機会に、本書の内容を解説する講習会を開催します。  
主催 (一社)日本建築学会 構造委員会プレストレストコンクリート構造運営委員会  
日時 2月6日(木) 10:30~16:20  
会場 大阪科学技術センター 4階401号室  
大阪市西区靱本町1-8-4  
定員 100名  
参加費 本会会員14,000円(テキスト代含)  
テキスト 「プレストレストコンクリート造建築物の保有水平耐力計算指針(案)・同解説」  
問合 (一社)日本建築学会近畿支部  
Tel.06-6443-0538

主催 新建築家技術者集団 西日本ブロック  
藤本昌也氏講演会  
「新ローカリズムの思想を語る」  
2/29

地道に生活者に寄り添い住まいや施設づくり・まちづくりを行ってこられた藤本昌也氏の実践を振り返りながら、建築とまちづくりの建築人としての「理念」と「作法」を語り合い、クロストークでは様々な分野の方々との意見交換を企画しています。  
主催 新建築家技術者集団 西日本ブロック  
日時 2月29日(土) 13:30~16:30  
会場 大阪市中央公会堂  
(大阪市北区中之島1丁目1番27号)  
参加費 無料  
定員 50名(申込み先着順)

## Others

その他のお知らせ

IPサロンBIM session-3  
近未来の建築・空間づくりのプロセス―竹中工務店のBIM戦略  
1/22

建築の設計・施工のすべてのものづくりプロセスにおいてBIMを活用しているゼネコンでの、こ

## Sponsorship

建築士会からのお知らせ

### 既存建築物耐震診断等の評価・評定

本会では、「建築物の耐震改修の促進に関する法律」の改正に伴い、建築構造の学識者や実務者で構成する「建築物耐震評価委員会」を組織し、平成26年1月より建築物耐震評価業務を実施しております。  
不特定多数が利用する施設や沿道建築物など、申込者が検討した建築物の耐震診断及び耐震補強計画について、専門的観点のもとに審査・審議を行い、妥当であると認める申込案件に対して評価書を交付します。  
スピーディな審査を心掛けておりますのでどうぞ活用ください。

(業務内容)  
耐震診断報告書の審査、評価  
耐震補強計画の審査、評価等  
(対象建築物)  
公共・民間等の建築種別、用途、規模、構造種別は問いません。また、他府県の建築物も対象としております。  
(会員特典)  
申込者又は診断等実施者が本会会員の場合、評価手数料の10%割引があります。

### 大阪府知事指定講習 既存木造住宅の耐震診断・改修講習会《限界耐力計算法》 1/29 CPD6単位

既存木造建築物の限界耐力計算法による耐震診断は、一般診断法が建物の強度を評価するのに対して、建物の強度だけでなく、減衰性能も評価することができる診断法です。この機会に限界耐力計算法の技術を修得され、今後の業務に活用されますようご案内いたします。  
日時 1月29日(水) 9:30～16:00  
会場 大阪府建築健康会館6階ホール  
最寄駅 地下鉄「谷町四丁目」下車  
定員 120名(定員に達し次第締切)  
受講料 会員6,000円 会員外8,000円  
テキスト代 4,000円(大阪府木造住宅の限界耐力計算による耐震診断・耐震改修に関する簡易計算マニュアル)

### 令和元年度監理技術者講習 (監理技術者以外の方も受講可能) 1/23、2/7、3/4 CPD各6単位

建設業法に基づく法定講習です。  
建築に特化したテキストを使用し、実務に役立つ情報を提供いたします。なお、監理技術者以外の建築士や技術者の方も受講が可能です。  
日時 1/23(木)、2/7(金)、3/4(水)  
時間 8:55～17:00  
会場 大阪府建築士会会議室

定員 各回30名(定員に達し次第締切)  
受講料 WEB申込み9,500円  
郵送申込み10,000円  
申込 日本建築士会連合会HPよりお申込みください。

### 建設工事の安全・健康確保講習会 ～大阪府工事入札(実績申告型)の評価点追加対象講習会～ 2/12 CPD3単位

本講習会では、設計、施工等の各段階における安全・健康確保の措置や、建築労働者の意識向上を図る取組方法について講習を行います。  
労働災害防止に関する対策を推進することにより、建築労働者の安全と健康の確保を目的としております。ぜひご受講いただき、安全と健康の確保にお役立てください。  
日程 2月12日(水)

内容 総合計画・仮設計画のポイント  
杭打、鉄骨工事の安全対策等  
講師 山下一彦  
(建設業労働災害防止協会)  
廣瀬淳司(大日本土木株)  
時間 13:30～17:05  
会場 大阪府建築士会会議室  
定員 60名(定員に達し次第締切)  
受講料 建築士会会員3,000円  
後援団体会員4,000円  
一般5,000円

### 被災建築物の応急危険度判定(養成)講習会 2/19 CPD3単位

地震等により被災した建築物の余震等による倒壊、部材の落下等から生じる二次災害を防止するため、被災建築物の応急危険度判定を行う判定士を養成する講習会です。ぜひ本講習会を修了のうえ判定士にご登録ください。  
日程 2月19日(水)  
時間 受付12:30～、講習13:20～17:00  
会場 大阪府建築健康会館6階ホール  
定員 150名(定員に達し次第締切)  
対象者 大阪府内在住または在勤の一級・二級・木造建築士、並びに建築基準適合判定資格者及び特定建築物調査員  
テキスト代 1,500円(受講料は無料)  
申込 大阪建築防災センターHP参照  
https://www.okbc.or.jp/course/2979/

### 令和元年度建築士定期講習 2/25、3/26、3/31 CPD各6単位

建築士法の規定により、建築士事務所所属するすべての建築士は3年以内ごとに定期講習を受講しなければなりません。本年度は平成28年度に本講習を受講された方や、建築士試験に合格された方が対象となります。未受講者は懲戒処分の対象となりますので必ず年度内

に受講してください。  
日程・会場・定員  
※2/25(火) 大阪YMCA会館 200名  
3/26(木) 大阪YMCA会館 200名  
3/31(火) 大阪YMCA健康会館 90名  
時間 9:15～17:00(各講習日共)  
受講料 12,960円(消費税含。事前振込)  
申込書配布場所  
大阪府建築士会及び大阪府建築士事務所協会事務局又は、建築技術教育普及センターHPからダウンロード(平成28年度受講者には、直接申込書を郵送しています。)  
申込方法  
上記事務局へ持参又は簡易書留による郵送受付場所(送付場所)  
※印の日程 大阪府建築士会事務局  
※印以外の日程 大阪府建築士事務所協会事務局  
建築技術教育普及センターHPからWEB申込みも可能です。  
https://jaeictkosyu.jp/jaeicteikikosyu/  
注)各回定員に達し次第、受付を終了します。

### 景観まちづくり講座テーマ別受講生募集 1/11、1/18、2/1、2/15、2/29、3/14 CPD3単位/1回

現在実施中の景観まちづくり連続講座テーマ①～⑥の希望される講座に参加できます。  
①日時 1月11日(土) 13:00～16:10  
内容 建築デザイン誘導と計画づくりの方法  
講師 森崎輝行(森崎建築設計事務所所長)  
山本俊貞(地域問題研究所所長)  
②日時 1月18日(土) 13:00～16:10  
内容 古地図を使ってまちを読み解く  
講師 酒井裕一(大阪あそび認定ガイド)  
門田江平(古地図収集家)  
③日時 3月14日(土) 13:00～16:10  
内容 古地図研究と景観まちづくりの講義及び受講生による成果発表会  
講師 岡 絵里子(関西大学教授)

実践講座(現場での実践を通して学習します)  
④日時 2月1日(土) 13:00～16:10  
内容 古地図アプリを使ったまち歩き  
⑤日時 2月15日(土) 13:00～16:40  
内容 まち歩き現地調査及び意見交換  
⑥日時 2月29日(土) 13:00～16:40  
内容 まち歩き調査のまとめ方と提案作成  
定員 各テーマ10名程度(申込先着順)  
会場 本会会議室、又はまち歩き場所  
受講料 会員2,000円 会員外2,500円/1回(講義資料代を含む)  
申込締切 各テーマ開催日の5日前まで

### 第64回大阪建築コンクール募集 1/15～31

本コンクールは、建築士と社会とのかわりを通じて建築作品を評価し、その優れた実績をたたえ、建築作品の設計者を表彰するものです。皆様の作品を募集します。

募集対象 大阪府知事賞部門、渡辺節賞部門  
(完了検査済証発行日で39歳以下)  
両部門共建物の種類・規模は問わない  
審査委員 委員長 長坂 大(京都工芸繊維大学教授)  
委員 荻原廣高(神戸芸術工科大学准教授)  
寺本武司(大阪府住宅まちづくり部  
公共建築室室長)  
中嶋節子(京都大学大学院教授)  
橋本一郎(エスキューブ・アソシエイツ)  
応募期間 1月15日(水)～1月31日(金)  
応募資格 大阪府知事賞部門:本会正会員または大阪府在住もしくは在勤の者  
渡辺節賞部門:本会正会員または大阪府在住もしくは在勤の者で完了検査済証発行日で39歳以下の者  
応募料 本会正会員 1作品20,000円  
本会正会員外 1作品40,000円  
※詳細は本号に同封の応募要項をご覧ください。

### 大阪府ヘリテージマネージャースキルアップ講座 岩湧山茅場 茅刈ミニ体験 重要文化財左近家住宅茅降ろし 体験と修理見学会 1/12

・岩湧山茅場 茅刈ミニ体験  
岩湧山山頂の茅場にて茅刈をします。  
日時 1月12日(日) 9:00～12:00  
集合時間 9:00(バス利用者は河内長野  
駅8:30発の滝畑ダム行き乗車)  
集合場所 滝畑コミュニティセンター駐車場  
・重要文化財左近家住宅 茅降ろし体験と  
修理見学会  
重要文化財である茅葺民家の茅降ろしを  
します。  
日時 1月12日(日) 13:30～16:00  
集合時間 13:00  
集合場所 滝畑コミュニティセンター駐車場  
定員 30名(小学5年生以上/午前午後共通)  
資料代 1,000円(午前午後共通)  
※午前午後いずれか一方の参加も可  
※参加証の発行はありません(定員に達した場  
合のみ連絡)

### 大阪府ヘリテージマネージャー/ステップアップ講座(スキルアップ講習) 「ヘリテージマネージャーの過去・現在・未来～20年の試行錯誤から見えてきたもの～」 2/1 CPD4単位(予定)

ヘリテージマネージャー制度創設にかかわり、その活動ネットワークとしてひょうごヘリテージ機構を立ち上げた20年の試行錯誤の経験を踏まえ、これからのヘリテージマネージャーの取り組みべき課題や今後の活動について、取り巻く最新動向を交えてご講演いただきます。  
日程 2月1日(土) 講演:14:00～17:30  
(13:00～希望者のみ館内見学)  
講師 沢田 伸(全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会運営委員会前副委員長)

## 会長動静

- 11/26～27 ホーチミン市建築士協会訪問
- 11/28 京都御所 御茶会
- 11/29 会長会議（近建協）
- 11/30 近畿建築祭（近建協）
- 12/2・9 大阪府採用委員会
- 12/12 運営委員会
- 12/13 国土交通省中央建築士審査会
- 12/18 理事会、正副会長会議
- 12/20 高槻市長面談
- 12/24 大阪府採用委員会

\*近建協：近畿建築士会協議会（近畿ブロック）



（左）濱田剛史  
高槻市長

## 運営部門

### 岡本会長が日本建築士連合会会長改選に立候補を表明

（公社）日本建築士連合会長の三井所清典氏は80歳を迎えられ、規程により今期で会長の退任を表明されています。次期会長は、全国7ブロックから候補者が推薦され、複数の候補者があった場合は、各ブロックの選挙人等の投票で決定します。

これに先立ち、本会の岡本会長は本会12月度理事会で、次期の連合会長に立候補することを表明され、全会一致で支援することを決議しました。

岡本会長は、平成26年から5年間に亘って連合会副会長を務められ、国土交通省との関係強化や、社会の課題や変革に対応した建築士活動を積極的に進めておられ、連合会会長として今後さらに建築士会活動の改革と牽引を行う決意を述べられました。今後、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県の建築士会近畿ブロックの各会長にご賛同をいただき、連合会に届出をします。

## 運営部門

### 令和元年建築士設計製図試験合格者の発表

令和元年の建築士設計製図試験合格者の発表が12月にありました。全国の合格者数（表1）は、一級と木造の設計製図試験が、台風19号の影響で東日本18都県の試験が中止になり、昨年と比べて3,258名減少しました。

なお、台風19号の影響で一級及び木造の設計製図が受験できなかった、全国の受験者を対象とした再試験が12月8日に24都道府県で実施され、5,969名（表2）が受験されました。再試験の合格発表は、一級が令和2年2月5日、木造が令和2年1月22日の予定です。

表1 製図試験合格者数

| 区分 | 合格者数 [名]    | 合格率 [%]      |
|----|-------------|--------------|
| 一級 | 1,541 (311) | 36.6 (36.40) |
| 二級 | 5,037 (377) | 46.3 (43.79) |
| 木造 | 193 (27)    | 59.4 (67.50) |

（ ）は大阪府の合格者

表2 再試験受験者数

| 区分 | 全国 [名] | 近畿 [名] |
|----|--------|--------|
| 一級 | 5,937  | 20     |
| 木造 | 32     | 2      |

※近畿の試験は大阪府1箇所では本会が実施

## 運営部門

### 本会への公益法人立入検査

大阪府による、本会の公益法人としての運営状況や事業活動等に関する立入検査を12月19日に受けました。

これは、公益法人認定法に基づき公益社団法人に対して4年内ごとに定期的に行われる立入検査で、本会は2回目です。検査は10時から18時に亘り、府法務課公益法人グループの3名の検査員により行われ、本会は会長、運営担当副会長、運営部門長、監事、専務理事、事務局長、担当課長の7名が対応しました。

検査内容は、公1～公3に分類している本会の公益事業の活動・運営内容、財務諸表内容の整合性、総会・理事会の運営及び議事録記載内容など多岐に渡りました。検査講評ではいくつかの指摘を受けましたが、対応可能な内容であり、後日府から、公益認定等委員会に諮った正式な検査結果通知があります。指摘事項に

つきましては、法人法に則り適切な改善を行います。

## 社会貢献部門

### 「大阪府歴史的建造物委員会」の設置

歴史的建造物の現状変更などで、行政が建築審査会の個別審査を経ずに同意するための基準案作成等を支援する「大阪府歴史的建造物委員会」の設置要綱を本会12月度理事会に諮り承認されました。

これは、建築審査会の同意により歴史的建築物に建築基準法や命令等の規定の適用をしないことを定めた法3条第1項第3号の運用の円滑化を図るための、平成26年4月1日付け国土交通省の技術的助言に基づくものです。

本委員会の組織は、委員長を本会会長が務め、意匠、構造、防火・避難の各分野の学識経験者、運営委員として、それぞれ専門分野の建築士から構成し、本会ヘリテージ委員会が所管します。

## 社会貢献部門

### 建物状況調査の消費者向けパンフレットを作成

本会が取り組みを進めている建物状況調査（既存住宅状況調査）及び既存住宅売買瑕疵保険を広く消費者に周知するため、消費者向けの普及・啓発パンフレットを作成しました。

これは、今年度本会が応募者として採択された、国土交通省の空き家モデル補助事業の一環として、「大阪の住まい活性化フォーラム」で作成したものです。

パンフレットは府内市町村の窓口や、既存住宅仲介時の説明に活用していただくため、府内約13,800社の不動産取引事業者等に配布します。本会では建築人1月号に同封していますので、既存住宅の売主、買主等に建物状況調査を説明する際にご活用ください。なお、国庫補助関連事業として、4月の民法改正をなど最新の情報と制度の詳細をまとめたテキストを用いて、2月13日に建物状況調査及び既存住宅売買瑕疵保険の活用セミナーを開催します。セミナーの受講は無料で、どなたでも参加できます。

## 秋の京都特別見学会

日程：令和元年10月17日（木） 会場：清風荘・北村美術館 参加者：30名

数寄者、普請道楽と言われ、実業家で茶人、又沢山の美術品収集家でもあった施主お二人による和風名建築を秋の京都で見学いたしました。

最初は、近代住友の基礎を築いたと言われ、鰻谷、茶臼山、御影住吉、鹿ヶ谷と本邸を3度移転した他、多数の別邸を建てた住友家第15代当主「住友春翠」による「清風荘」です。鴨川の東、今出川通の北に建つこの建物は、現在、住友家から京都大学に寄贈されております。

東と南二面に縁を廻らせ腰ガラス障子が入られた二間続きの客間の畳に座り、縁角の大樹の枝先に広がる庭園とその奥に東山を借景に眺めながら当会副会長の中嶋節子先生（京都大学大学院 教授）より解説を頂きました。

この建物は、徳大寺家の私的邸宅が住友家に譲渡され、住友春翠により実兄でもある元公爵西園寺公望の控邸として大正

元年に建築されています。

設計は、住友家の普請に多数関わった大工の二代目八木甚兵衛、茶室は数寄屋大工の上阪浅次郎で重要文化財に、庭園は、七代目小川治兵衛によるもので名勝に指定されています。

解説を頂いた後、第一中門から露地、茶室、約3700坪の池泉回遊式庭園を廻り再度主屋から離れと見学しました。床柱の北山杉天然絞り丸太、床蹴込みの北山杉の名栗加工材、特徴ある欄間等、贅を尽くし厳選された材料や意匠に凝った加工法など丁寧な解説を頂きました。

もうお一人は、吉野杉でもブランドの北村林業を家業とする「北村謹次郎」による「四君子苑」です。鴨川の西に位置する北村美術館に隣接した北村氏の旧邸で、春と秋に期間限定で公開されています。昭和十九年に京数寄屋の名棟梁北村捨次郎により建てられ、母屋は昭和三十八年

中村浩樹（二級木造委員会委員）



に設計吉田五十八で改築され、RC造平屋建てで高い天井迄のアルミサッシ、欄間付き襖などモダンな近代数寄屋と成っています。全て素晴らしく書ききれませんが特に、池に張り出すように建つ雁行する茶室と広間、そこに架かる焼杉を四半張りした吹き放しの広縁は、涼やかな水音の中、建物と庭が一体となった何時までも座っていたい趣有る空間でした。



清風荘にて中嶋副会長による解説

## なんばスカイオ建築技術講習会

日程：令和元年11月7日（木） 会場：なんばスカイオ8階コンベンションホール会議室3 参加者：68名

2018年10月にオープンした「なんばスカイオ」建築技術講習会に参加し、設計監理を行った(株)大林組の設計・監理・設備・施工の各担当者から、建設をめぐる様々な技術について、講義いただきました。事業主からは、長年にわたり開発してきた難波街区エリアの更なる価値向上となる魅力的な複合施設の計画が、設計者に求められました。建築計画では、難波街区の中心となるランドマーク建築をつくり、既存の施設と効果的につなぐことで新たな回遊を生み出し、地球環境に配慮し災害時にも強い建物性能をもつことで地域・社会と共生できる建築を目指したということでした。

施設構成としては、地下1階から地上6階を店舗、7階から8階をホール・会議室、9階を医療施設、10階をスカイロビー、11階から12階を設備機械室、13

階以上をオフィスとされています。

構造計画の特徴としては、ベルトトラスとハットトラスにより、地震時の曲げ変形を抑制し、オフィス階の約9mのはね出しを実現されています。また、各階に座屈拘束ブレースとオイルダンパー、屋上にマスダンパー（TMD）を設置して、地震時の水平変形を抑えて、高い耐震性能を確保されています。

設備計画の特徴としては、さまざまなエネルギーマネジメントにより省エネ・省CO<sub>2</sub>を実現し、BCPとして停電対策・断水対策・浸水対策が行われています。

施工計画の特徴としては、周辺施設（高島屋・スイスホテル・南海難波駅）の営業時間帯が異なることにより、騒音を伴う工事時間が制約される中で、さまざまな取り組みより、当初の工期を10.5ヶ月短縮されていました。

横田友行（研修委員会委員）



### 建築概要

事業主：南海電気鉄道株式会社  
設計・監理：(株)大林組  
施工：大林・竹中・南海辰村JV  
構造：S造（地下SRC造）  
規模：31F、B2F、PH1F  
建築面積：約3,820㎡  
延床面積：約84,950㎡  
最高高さ：約148m  
主要用途：事務所、店舗、ホール等



なんばスカイオ外観

©井上登



1932年に開園した児童養護施設の建替え事業。3ヵ所にわたる敷地は一本の道に面しており、おのずと「まち並み」が形成される。住宅地におけるこうした施設の性質上、閉じられた表情となりがちであるが、道路面にバッファゾーンを設け、折り紙のように折り曲げられたプレートが印象的なファサードとして、まちに対して開かれた表情が設えられた。この地は古くから木造長屋が多いことから、住宅の開口スケールで折り曲げられたプレートと道路境界に配された木質のルーバーがその記憶を体現している。「そんなところで遊んだらアカン！」児童が地域ぐるみで育まれてゆくまち。そんな古くて新しい風景の再生が意図されている。

所在地：大阪市生野区  
 用途：児童養護施設  
 竣工：2018.04  
 2019.03  
 2017.05  
 構造規模：鉄骨造  
 敷地面積：427.77㎡  
 312.95㎡  
 140.73㎡  
 建築面積：328.73㎡  
 246.74㎡  
 112.95㎡  
 延床面積：882.90㎡  
 237.14㎡  
 120.94㎡  
 写真：セイヨウスタジオ

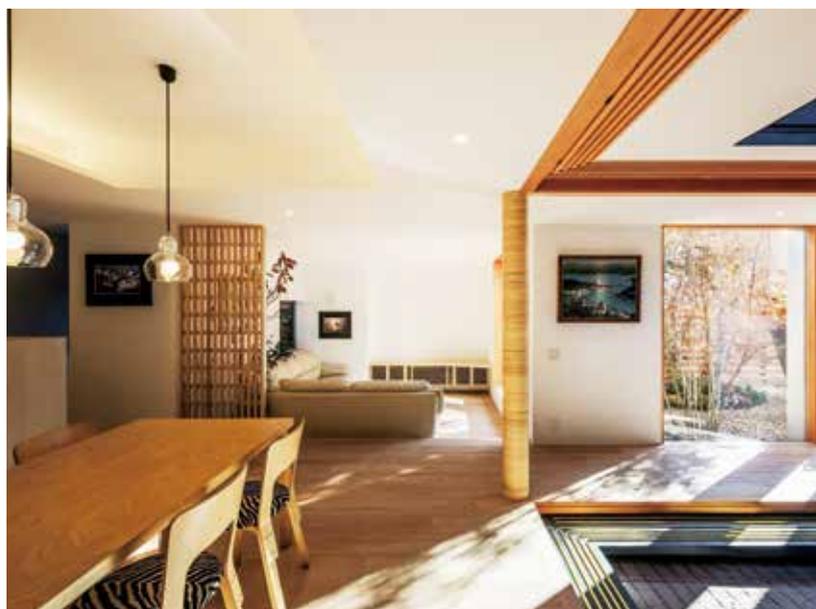


弁天町駅に近接する元町エリアの玄関口として、角地の敷地特性を生かし、安定感のある石張りの低層部から空に向かって伸びあがるコーナーの、丸柱とアースカラーを基調とした外観デザインは、地域のつながりと発展をイメージしました。また、長寿命建築とメンテナンス削減に配慮し、入居者にとってもプライバシー・セキュリティに配慮した、ホスピタリティのある家庭的な集合住宅となっています。

何よりも、基本構想から施工に至るまで、クライアントをはじめ多くの関係者の熱い思いが、このプロジェクトの完成の原動力です。

(HTA デザイン事務所 高原浩之)

建築主：富士パネル  
 構造：高原建築構造  
 事務所  
 設備：シーソー建築  
 設計事務所  
 所在地：大阪府大阪市  
 用途：共同住宅  
 竣工：2019.11  
 構造規模：RC造・地上10階  
 敷地面積：296.69㎡  
 建築面積：229.29㎡  
 延床面積：1,373.60㎡  
 写真：高田 真



敷地は高槻市の南西に位置し、交通量の多い南側大通りに面している。建主の母親が中学時代の恩師で、母親と夫婦・子供の3世代同居の住宅である。まず、交通騒音対策と、画家であったご主人の絵と趣味である先生の写真を飾り、家全体がギャラリー的な空間になるように計画を進めた。道路面と西側水路沿いに窓のない壁を立て、道路面の開口をガレージとアプローチのみのダブルスキンの外観とした。細長い変形敷地を生かし、道路左側にガレージ、右側に和室を配置した。長い廊下を設けたその奥に生活空間を配し、開放的な東側に設けた主庭と、点在させた庭から各部屋に陽光が射し込み、涼風が通り抜け、緑と自然を感じられる住まいである。

所在地：大阪府高槻市  
用途：専用住宅  
竣工：2019.12  
構造規模：木造2階建  
敷地面積：231.00㎡  
建築面積：127.86㎡  
延床面積：190.64㎡  
写真：福澤昭嘉

なぜこのような建替え計画が無造作に進んでしまうのだろう。谷口吉生（一九三七年）が設計を手がけ、一九八九年に竣工した東京都葛西臨海水族園が現在、取り壊しの危機の中にあるという。従来の博物館型水族館のイメージを刷新する建築として脚光を浴び、毎日芸術賞や公共建築賞などを受賞、二〇一九年に開館三〇周年を迎える現役の公共施設に何が起こっているのか。

すでに報道されているように、事の発端は、二〇一九年一月に東京都が発表した「葛西臨海水族園の更新に向けた基本構想」に始まる。そこには、隣接地に建築する新しい施設に「水族園機能を移すことを基本とした検討」を進めることが明記されており、現在の建物の建替えの可能性を示唆する内容となっていたのだ。この突然の発表を受けて、二月五日には、急きよ日本建築学会の会長名で、東京都知事と建設局長宛に、同館の保存活用に関する要望書が提出される。その文面には、「竣工後三〇年に満たない優れた建築物を、建替えの可能性を含む検討の対象とすることは、持続可能な発展を目指す今日の社会の求める姿勢とは相容れないもの」と危惧の念が表明される。

しかし、この要望書に対して、東京都の建設局長名で回答書が学会に届いたのは、九ヶ月も後の十一月八日であり、そこには、「既存施設については、水族園機能を移設後」に「そのあり方について見当する予定」とだけ記され、学会が求めた既存施設の有する「文化的価値」に対する見解については、一言も触れられてはいなかった。

ここで考えておきたいのは、この水族園の切り拓いた環境造形の地平、谷口マジックとも名付けたくなる新しい公共デザインを持つ歴史的、文化的な価値である。

この水族園の完成後の姿があまりにも見事に周辺環境と調和しているために、その建築が成し得た設計方法の革新的な意味を想像することは難しい。しかし、国土地理院が公開している計画時点の航空写真を見ると、建設前の敷地は荒涼たる埋立地が広がる茫漠とした場所だった。対岸には一九八三年に開園した東京ディズニーランドがある。こうした難しい敷地に谷口は何を提案しようとしたのだろうか。設計から竣工まで五年を費やした水族園の建設計画には、

## 記憶の建築

松隈 洋

東京都葛西臨海水族園 1989年  
先駆的な環境造形の行方



アプローチから見るガラスドーム



ガラスドームと東京湾に続く水面

問題があり、私にとって厳しい試練の連続でもありました。敷地の著しい軟弱地盤に起因した問題、短い設計期間の中での設計条件変更への対応、工事が分離発注され、三〇を超える施行担当者の中での監理業務など、多くの問題がありました。」

そして、続く文章には、設計の基本方針が次のように記されたのである。

「設計の基本方針につきましては、(中略)

は、上部のガラスドームだけが周辺の景観の中に突出しています。厳格な幾何学と雄大な海の自然とを対峙させることにより、お互いがそれぞれを際立たせ、東京湾に新しい風景がつけられます。この風景によって象徴化された新しい環境を、水族園の特徴としたのです。

次に、もう一つの設計の方針は、人びとにある種の非日常的な空間体験を与えることを、建築の構成によって試みることでした。それは都市の中のレクリエーション施設として、人びとを一時でも現実の世界から離れさせ、まず遊びの原点である非日常的な世界に導き入れることが、必要だと考えたからです。

入場者は水族園の敷地に入り、ゲート広場を通りブリッジを渡って、本館屋上に導かれます。突然、開けた景観を背景として、水の中にガラスのパビリオンが浮かび上がります。前方には逆光を受けて光る噴水池の水面と、東京湾の水面が重なり合って、地平線に向けて消えゆきます。(中略)

このように、東京湾の景観を積極的に取り込みながら、一種の虚構による空間構成によって、非日常性を演出することを試みたのでした。」

乗り越えなければならぬ相当な苦勞と困難があったに違いない。また、そのために、谷口を支える施主側の東京都の技師たちの万全な協力体制が整えられたのだろう。こうして、竣工後、東京都財務局営繕部建築課長に宛てた谷口の書簡の一部が、『建築文化』(一九八九年十一月号)に掲載される。そこには、感謝の言葉と共に、次のような計画の経緯と設計方針が綴られていた。

「この計画の設計は、(中略)多くの難しい

建築と敷地の自然環境との関連に基づいて発想されております。

まず、設計方針の第一は、建物が水族園であり、敷地が海辺にありますので、(中略)この両者を積極的に関連づけた環境を実現することでありました。(中略)

また、環境としての建築を志向するために、建物のボリュームを可能なかぎり消し、様式的な表現や技巧的なディテールを極力避け、全体を抽象的な幾何学形による構成をしました。直径が一〇〇mの円盤状の建物

ここに記されたように、谷口は周囲の環境を巧みに取り込み、敷地が持つ特性を最大限に活かしつつ、開かれた環境造形による新しい公共空間を創りあげたのである。私たちに求められているのは、こうして誕生した公共空間が持ち得た生きられた建築の価値を真摯に見つめ直すことだと思ふ。

松隈 洋

京都工芸繊維大学教授、博士(工学)。一九五七年兵庫県生まれ。一九八〇年京都大学卒業後、前川國男建築設計事務所に入所。二〇〇八年十月より現職。

会員  
限定

# 建築士賠償責任 補償制度 (けんばい)

## 改正建築士法、2015年6月25日施行 「設計業務等に関する損害賠償保険の契約締結の 努力義務化(第24条の9)」

2014年度より、「法令基準未達補償」および「構造基準未達補償」の2つの補償を追加し、「滅失・破損」が発生しない場合でも一定の基準を満たさなかったために生じる損害賠償責任に対応できるように改定いたしました。

さらに、2016年度からは、耐震診断等の建物調査の遂行に起因して発生した対人・対物事故を補償する「建物調査遂行中の賠償責任補償」を、オプションとして追加しています。

|                             |                                       |  |                             |                            |
|-----------------------------|---------------------------------------|--|-----------------------------|----------------------------|
| 設計・監理業務等<br>損害賠償責任<br>に起因する | 滅失・破損<br>あり                           | 建築設備が著しく本来の機能を発揮できない場合の補償<br>(給排水衛生設備、電気設備、空調設備、住宅の遮音性能) | ↑<br>2013年度までの<br>けんばい<br>↓ | ↑<br>本年度の<br>標準セットプラン<br>↓ |
|                             | 滅失・破損<br>なし                           |  |                             |                            |
|                             | 法令基準未達補償 2014年改定<br>※補償対象外とすることも可能です。 |  |                             |                            |
| 構造基準未達補償 2014年改定            |                                       |  |                             | オプション                      |
| 建物調査遂行中の賠償責任補償 2016年改定      |                                       |  |                             | オプション                      |

### ●法令基準未達補償

建築物の外形的かつ物理的な滅失または破損が無い場合でも、「所定の建築基準関連法令における基準」を満たさないことについての損害賠償責任を補償します。

### ●構造基準未達補償

建築物の外形的かつ物理的な滅失または破損が無い場合でも、「建築基準法第20条1、2、3号建築物」について、「建築基準法第20条に規定する構造基準」を満たさないことについての損害賠償責任を補償します。

### ●建物調査遂行中の賠償責任補償

耐震診断等の建物調査業務の遂行に起因して発生した対人・対物事故について、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害を補償します。  
ただし、建物調査業務の結果により発生した事故は補償の対象外となります。

### ご加入はWebで

公益社団法人日本建築士会連合会  
のホームページ

保険制度

2019年度  
けんばい

新規加入の方

設計・監理業務等のリスクに備えた  
建築士会会員のための補償制度

## 公益社団法人 日本建築士会連合会

〒108-0014 東京都港区芝5-26-20 建築会館 5階  
TEL:03-3456-3273 FAX:03-3456-2067  
<http://www.kenchikushikai.or.jp/>

## 取扱代理店 株式会社 エイアイシー

〒102-0083 東京都千代田区麹町3-3-8 丸増麹町ビル 2階  
TEL: 03-6272-6206 FAX: 03-6272-6209

引受保険会社: (幹事) 東京海上日動火災保険株式会社・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社・三井住友海上火災保険株式会社

このチラシは建築士賠償責任補償制度(けんばい)の概要についてご紹介したものです。保険の内容は建築士賠償責任補償制度のパンフレットをご覧ください。詳細は保険約款によりますがご不明の点がありましたら、下記までご連絡ください。なお、保険の内容につきましては、取扱保険代理店よりご案内させていただきます。

ユーザー対象の設計相談  
住宅の設計者問い合わせ  
に対応する

# 登録者募集

(公社)大阪府建築士会 社会貢献部門 “住宅を設計する仲間達” 委員会

登録者の個人ページ・・・専用のホームページ内に作成可  
建築士リスト・・・数カ所の機関に配架し、広報活動を展開  
設計相談・設計例展示・・・大阪市立住まい情報センター等

専用ホームページ [www.jutaku-nakama.com/](http://www.jutaku-nakama.com/)  
登録・問合せは (公社)大阪府建築士会 隅原まで  
06-6947-1961 [info@aba-osakafu.or.jp](mailto:info@aba-osakafu.or.jp)

# 住宅を設計する仲間達 建築士 リスト 2018-19

家づくりの

『住宅  
大阪府』  
が得意な建

あなたにピッタリ  
お問い合わせく

- トップページ
- 住宅を設計する仲間達とは
- 建築士に任せるメリット
- 具体的な流れ
- まんが～家作りストーリー～
- 土地の選び方
- 住宅ローンについて
- 建築士を探す

建築士に任せるメリットは何?

ホームページの  
抜粋版です

家づくりは、頼る建築士選びから。  
「住宅を設計する仲間達」は、住宅を設計するプロ（建築士・建築設計事務所）の集まりです。3,000人が在籍する公益社団法人大阪府建築士会は、住宅一部の社団法人大阪府建築士会と連携し、平成8年に「住宅を設計する仲間達」を設立しました。

に対して、たくさんの思いをお持ちの方こそ 歓迎します。品質の向上とを目的に、住宅設計のプロセスをいっしょに楽しみましょう。

自然と住まいがやさしく調和することを心がけています。風や光に季節を感じ、家族の一人ひとりにとって心地よく癒される住まいを“粋でおしゃれに”デザインさせていただきます。吟味した杉で体がよるこぶ空気をつくり、子どもから大人まで 脳を元気に健康で安全で安心して暮らせる家を丁寧につくらせて頂きます。

## 大阪府知事賞 認定こども園 日吉幼稚園



建築位置：高槻市日吉台六番町 10-2  
完成年月：2016 年 3 月  
主用途：幼保連携型認定こども園  
建築主：学校法人 成城学園  
設計者：竹原義二／無有建築工房  
施工者：(株)藤木工務店大阪本店  
撮影者：絹巻 豊

〈講評〉郊外住宅地の開発以前から小高い丘の上に立地していた幼稚園であるが、周辺の開発によって住宅地に接して建つこととなった。園舎の再整備にあたって既存の石積み擁壁を崩し、5mもの高低差のある敷地境界にひな壇状の擁壁を構え、巧みに分節化を図っている。分節化は形状だけでなく、色や大きさ、表面デザインの異なる煉瓦タイルをモザイク状に積み、さらに四季折々に花をつける植栽を施すことでさらなる分節化を図っている。こうした手間暇を惜しまない設計と施工がみごとな地域景観を生み出している。(審査委員長 久 隆浩)

## 大阪市長賞 JO-TERRACE OSAKA



建築位置：大阪市中央区大阪城 3-1  
完成年月：2018 年 6 月  
主用途：飲食 物販  
建築主：大阪城パークマネジメント(株)  
設計者：大和ハウス工業(株)  
施工者：大和ハウス工業(株)本店  
撮影者：(株)伸和

〈講評〉以前の姿をよく知るものとして、この変わり様は驚きとともに大変嬉しい。既存の樹木を残して施設が分散配置され、歩いて楽しい賑わいのあるストリートが生まれた。大阪城公園駅とデッキで繋がり、施設群へのアプローチもスムーズで、二階のデッキからは通りを見下ろすことができる。高さを抑え屋根勾配を統一した施設群は、周辺環境に溶け込んでいる。「指定管理者制度」を利用し、都市公園を活性化する意欲的な新たな取り組みによる、賑わいのあるまちなみの創出という点で、大阪市長賞にふさわしいプロジェクトである。(審査委員 指田孝太郎)

## 審査員特別賞 城東区複合施設



建築位置：大阪市城東区中央 3-5-45  
完成年月：2016 年 3 月  
主用途：区役所 集会場 図書館 老人福祉センター 事務所  
建築主：大阪市  
設計者：(株)日建設計、大阪市都市整備局  
施工者：浅沼・中林特定建設工事共同企業体  
撮影者：河合止揚

〈講評〉分散していた区の施設を集め、新築した。区役所、区民センター、図書館、老人福祉センターという多様な施設を一体のシルエットでまとめている。住民の音楽活動が盛んなことにちなみ、五線譜をイメージした壁面緑化が印象的だ。一方で北側は公園に大きく開いた透明感のあるつくりで、公園とつながるバルコニーを各階に設けるなど、人々の交流を生む仕掛けが施されている。「役所『らしくない』建築」を目指したことで、街に潤いを与え、住民に開かれた空間になった。(審査委員 羽根和人)

# 第39回大阪都市景観建築賞(愛称 大阪まちなみ賞)入賞作品

主催 大阪府・大阪市・(公社)大阪府建築士会・(一社)大阪府建築士事務所協会・(公社)日本建築家協会近畿支部大阪地域会・(一社)日本建築協会

◆表彰目的 周辺環境の向上に資し、かつ、景観上優れた建物や建物を中心とするまちなみを表彰することにより、個性と風格のある都市景観の形成に寄与するとともに、都市景観に対する意識の高揚を図ることを目的とする。

◆対象 大阪府域内の建物(平成26年8月1日から平成30年7月31日までに完成したもの)及び建物を中心としたまちなみ(平成30年7月31日までに完成したもの)で、一般の方々から推薦を受けたもの。

◆審査委員 ※50音順 審査委員長\*

上村 晋(建築)  
(公社)日本建築家協会近畿支部大阪地域会副会長

中嶋 節子(建築)  
京都大学大学院人間・環境学専攻教授

久 隆浩\*(都市計画)  
近畿大学総合社会学部環境まちづくり系専攻教授

指田孝太郎(建築)  
(公社)大阪府建築士会相談役

夏原 晃子(デザイン)  
美術造形デザイナー

藤本 英子(芸術)  
京都市立芸術大学美術学部デザイン科教授

下村 泰彦(造園)  
大阪府立大学大学院人間社会システム科学研究科教授

羽根 和人(報道)  
朝日新聞大阪本社社会部長

## ◆審査総評

本年の審査対象59件(建物55件、まちなみ4件)から、例年通り審査資料にもとづいた1次審査で10件を選出し、現地審査による2次審査を行った。2次審査に残った作品は、今回は大規模開発がなかったこともあり、いずれも甲乙つけがたい秀作ばかりであった。そのため、すべての作品に賞を差し上げることにした。

そうした中でも、認定こども園 日吉幼稚園、JO-TERRACE OSAKA、城東区複合施設の3作品の評価が高く、いわゆる3賞候補はすんなりと決まった。このうち大阪市外の作品は認定こども園 日吉幼稚園のみであり、自動的に大阪府知事賞の受賞となった。続いて、審査員特別賞は建築デザインとしても優れている作品に授与するものであり、議論の結果、城東区複合施設

を審査員特別賞に選考することにし、JO-TERRACE OSAKA を大阪市長賞とすることにした。

これら3作品は、いずれも地域特性を巧みに受け止め、地域のシンボルとなる景観をつくりだしており、まさしく、景観建築賞にふさわしい作品ばかりである。大阪府知事賞に選ばれた認定こども園 日吉幼稚園は、5mにもなる高い擁壁を手間をかけひな壇状に設計、施工することで、高低差のある郊外ニュータウンにおけるシンボル景観をつくりだしている。大阪市長賞のJO-TERRACE OSAKA は、大阪城公園駅から大阪城ホールへと人を誘う賑わいの景観づくりに貢献している。また、審査員特別賞に選ばれた城東区複合施設は、区役所や区民ホール、図書館、老人福祉センター

など住民が日常生活で使う公共施設を良質なデザインとすることで地域のシンボル景観をつくりだしている。

緑化賞に選ばれた日本生命病院、建築サイン・アート賞に選ばれた大阪北NKビルも、建築デザインとしてもまちなみに貢献しているが、日本生命病院は地域に開かれ四季折々に五感で楽しむことができる外構緑化が高く評価されたものである。また、大阪北NKビルは、歩道近くまで張り出したメッシュ状の光壁に取り付けた控えめなデザインのサインが高く評価された。



審査委員長 久 隆浩

## 審査風景



## 奨励賞 児童養護施設 田島童園 北館



建築位置：大阪市生野区林寺 5-11-24 完成年月：2018年6月  
主用途：児童養護施設 建築主：社会福祉法人 田島童園  
設計者：(株)創間社 大仁思篤+(株)テンフォーテン 牧野隆義  
施工者：(株)トータルトーク  
撮影者：セイリョウスタジオ

〈講評〉田島童園北館は雑然と低層住宅や商店が建ち並ぶ市街地にある。1階を半層掘り込むことで周囲の建物と軒の高さを合わせ、大胆な造形で分節化を図り周囲のスケールに馴染ませるなど、まちなみとの調和への想いが感じられる作品である。  
(審査委員 上村 晋)

## 奨励賞 松下幸之助歴史館



建築位置：門真市大字門真 1006 完成年月：2018年2月  
主用途：博物館 建築主：パナソニック(株)  
設計者：(株)竹中工務店 施工者：(株)竹中工務店  
撮影者：古川泰造

〈講評〉80年を超えて地域の景観を作り出してきた本社社屋の復元を、瓦とタイルの焼きむらや、シンボルの舵輪と煙突などを執着を持って実現している。駅から桜広場に続く道路側のフェンスをとり、セキュリティラインを奥に下げて敷道を歩道と一体化させ豊かな公共空間の広がりが生まれた。幸之助氏が植えた個性的な刈込みのカイズカイブキと彫刻が印象的だ。  
(審査委員 藤本英子)

## 奨励賞 DESCENTE INNOVATION STUDIO COMPLEX



建築位置：茨木市彩都やまぶき 2-3-2 完成年月：2018年7月  
主用途：事務所 建築主：(株)デサント  
設計者：(株)竹中工務店 施工者：(株)竹中工務店  
撮影者：Nacasa & Partners Inc.

〈講評〉一つの丘に建てられた建築は、光も風も通す空間をベクトルの形状で囲い込み。まさに社名の「滑降」が如くスピードを持って飛躍しそうなフォルムを持つ。周囲250Mのトラックがその空間を貫き、ダイナミックなインテリア空間を作り出す。しかし周辺景観からは突出していない。壁にワンポイントのロゴマークも印象的だ。(審査委員 藤本英子)

## 奨励賞 大阪重粒子線センター



建築位置：大阪市中央区大手前 3-1-10 完成年月：2017年9月  
主用途：診療所 建築主：大阪重粒子線施設管理(株)  
設計者：(株)日建設計 施工者：鹿島建設(株)関西支店  
撮影者：(株)写真通信

〈講評〉大阪城と正対するファサードは、城壁をモチーフとした石打込みPC版が緻密に積み上げられ、まちなみに新たな表情を与えている。巨大な重粒子線装置を建屋形状と配置の工夫によりボリュームを低減させ、景観形成に貢献している。  
(審査委員 上村 晋)

## 奨励賞 三菱UFJ銀行 大阪ビル



建築位置：大阪市中央区伏見町 3-5-6・3-4-9  
完成年月：2018年3月  
主用途：事務所  
建築主：(株)三菱UFJ銀行  
設計者：三菱地所設計・東畑建築事務所  
設計監理共同企業体  
施工者：大林・銭高・大末共同企業体  
撮影者：川澄・小林研二写真事務所

〈講評〉本施設は、御堂筋の高さ制限緩和による高層建築において低層部と高層部とを切り替えることにより、威圧感の解消とまちなみの連続性を図っている。御堂筋のセットバック部分を除き、外周部の列植が緑量感の向上に寄与している。  
(審査委員 下村泰彦)

## 緑化賞 日本生命病院



建築位置：大阪市西区江之子島 2-1-54  
 完成年月：2017年10月  
 主用途：病院  
 建築主：日本生命保険相互会社（公財）日本生命済生会  
 設計者：(株)大林組  
 施工者：新日生病院建設共同企業体（(株)大林組、大成建設(株)）  
 撮影者：(株)伸和

〈講評〉本施設は、低層部1階をコリドー化し、カフェやイベントホールを配して地域に貢献し、立ち寄りやすく配置された敷地西側の公開空地が、都市広場としての効果を発揮している。空地内の園路については、曲線を使ってゆったりと歩行できる空間を演出するとともに、植栽樹種については、北西角のケヤキが、旧府庁周辺に植えられていたケヤキのイメージを継承させながらシンボルツリーとなり、シマトネリコやヒトツバタゴをはじめ多様な樹種が緑量感と季節感を醸し出している。  
 （審査委員 下村泰彦）

## 建築サイン・アート賞 大阪北NKビル



建築位置：大阪市北区芝田 2-4-10  
 完成年月：2018年4月  
 主用途：ホテル  
 建築主：JR西日本不動産開発(株)  
 設計者：(株)竹中工務店  
 施工者：(株)竹中工務店  
 撮影者：母倉知樹

〈講評〉大阪の北、繁華街のすぐ傍に既に馴染む建物がある。北の公園の緑地に恵まれ、軒の深いテラスは腰を下ろしたくなりそうな佇まいだ。建物のサインを含むエントランスは中庭の壁面へと繋ぐモダンで繊細なデザインはおもわず誘い込まれる優しさを見せる。サインや広告は目立つだけではなく、その建物の持つ特性を伝えるモノでありコトでもある。此处でも新しい形のデザインが素材の新しい使い方を示しているコトを見せてもらえた。  
 （審査委員 夏原晃子）

## 審査風景



謹賀新年 2020

大阪府建築士会役員

見える社会貢献活動へ

宮崎 八郎

宮崎建築設計事務所  
大阪市中央区西心斎橋1-1-11  
(心斎橋西ビル8F)

柳川 陽文

株式会社 小河建築設計事務所  
大阪市中央区瓦町3-3-7  
(瓦町KTビル6F)

岡本 森廣

全日本コンサルタント株式会社  
大阪市浪速区港町1-4-38

安心安全快適なモノづくりをめざす

澤本 侃一郎

株式会社 K&S総合企画  
大阪市西区京町堀2-2-1  
(スマタビル10F)

上田 茂久

株式会社 上田茂久・建築設計工房  
大阪市北区中津1-12-3

田中 義久

株式会社 田中都市建築事務所  
(TANATOSHI DESIGN NET)  
TANATOSHI Osaka 大阪市中央区本町橋5-14  
(OZビル本町橋902)  
TANATOSHI Tokyo 東京都大田区上池台1-7-16-218

大阪・関西万博の共創へ始動しよう！

濱田 徹

株式会社 イリア  
大阪市中央区城見2-2-22  
(マルイトOBPビル9F)

飯田 英二

株式会社 IMOデザイン  
宝塚市武庫川町4-3-711

徳岡 浩二

株式会社 徳岡設計  
TOKUOKA SEKKEI MYANMAR Co. LTD (YANGON)  
大阪市中央区本町橋5番14号  
(オージービル本町橋3階)  
大阪・東京・滋賀・九州

人にやさしく

沼田 亘

株式会社 昭和設計  
大阪市北区豊崎4-12-10

山城 健児

コーナン建設株式会社  
大阪市北区大淀南1-9-10

建築設計事務所

あけましておめでとうございます

人、社会、地球環境との共生

夢ある未来の創造

宇澤 善一郎

アトリエ・U  
和泉市池田下町1699

金峰 鐘大

株式会社 IAO竹田設計  
大阪市西区西本町1-4-1

湯浅 武夫

株式会社 阿波設計事務所  
大阪市浪速区元町2-2-12

西村 清是

株式会社 浦辺設計  
大阪市中央区北浜2-1-26  
(北浜松岡ビル4F)

阿波野 昌幸

公益社団法人日本建築積算協会  
関西支部 支部長

亀井 忠夫

株式会社 日建設計  
大阪市中央区高麗橋4-6-2

お任せください—東西から南北まで—

清水 仁

東西建築サービス株式会社  
大阪市中央区高麗橋4-7-7

米井 寛

株式会社 東畑建築事務所  
大阪市中央区高麗橋2-6-10

あけましておめでとうございます

横田 友行

株式会社 能勢建築構造研究所  
大阪市中央区瓦町3-3-7  
(瓦町KTビル)

佐野 吉彦

株式会社 安井建築設計事務所  
大阪市中央区島町2-4-7

建設会社

100年をつくる会社  
鹿島

専務執行役員  
支店長 松崎 公一

関西支店：大阪市中央区城見2丁目2番22号 電話06(6946)3311  
本社：東京都港区元赤坂1丁目3番1号 電話03(5544)1111

 竹中工務店

取締役社長 佐々木 正人

大阪本店 大阪市中央区本町4-1-13  
TEL06(6252)1201  
東京本店 東京都江東区新砂1-1-1  
TEL03(6810)5000

 大成建設  
TAISEI

*For a Lively World*

常務執行役員関西支店長 加賀田 健司

関西支店：大阪市中央区南船場1-14-10 電話06(6265)4504  
本社：東京都新宿区西新宿1-25-1 電話03(3348)1111

低炭素化の防水仕様で環境へ貢献



■ピロウエルトE新熱工法 ■シグマートE

## 日新工業株式会社

大阪支店 支店長 北村 克己

大阪支店：〒550-0013 大阪府大阪市西区新町1-12-22  
TEL 06-6533-3191(代表)

本 社：〒120-0025 東京都足立区千住東2-23-4  
TEL 03-3882-2424(代表)

## ナイスジョイント

ステンレス製=給水・給湯・冷温水配管用管継手

ISO9001  
ISO14001  
認証取得

## オーエヌ工業株式会社

代表取締役社長 中村 政弘

■本社・工場 〒708-0011 岡山県津山市上田邑3235-2  
TEL (0868) 28-0171(代) FAX (0868) 28-4254

キノウを超える、ミライへ。

## DAIKEN

大建工業株式会社

大阪市北区中之島3-2-4

中之島フェスティバルタワー・ウエスト  
06-6205-7214

DESIGNER'S NETWORK

## 株式会社 ディーネット

代表取締役 宗次 健太

〒660-0828 尼崎市東大物町2-1-21 TEL.(06)6483-6308



カメラ+タッチパネル付きディスプレイを  
搭載した新型ダムウエーター

総合エレベーターメーカー



小荷物専用昇降機 / ダムウエーター  
人荷用・荷物用エレベーター  
いす式階段昇降機 / 自由生活

本社：大阪市西区京町堀 1-12-20  
TEL：0120-07-0570  
HP：www.kumalift.co.jp



マンション・ビルの大規模修繕工事  
高分子株式会社



www.konounsni.co.jp

代表取締役 山口 朗

〒599-8271 大阪府堺市中区深井北町3418-1 TEL：072-278-4157(代表)

一般社団法人

## 大阪空気調和衛生工業協会

会長 古新 亮英

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-7-20 新トヤマビル3階  
TEL 06(6271)0175 FAX 06(6271)0177

夢のレンガを積みあげよう



## 都窯業株式会社

大阪市北区西天満2-8-1 大江ビル

☎(06)6367-0389 FAX(06)6367-5567

工房 三重県伊賀市西山 伊州窯 伊州観白樓

E-mail: info@miyakogyo.com

HP :http://www.miyakogyo.com

住まいに、人に、安心を。

住宅相談・住宅情報提供・各種研修事業  
住宅展示場の企画・運営  
住宅性能評価機関・住宅保険取扱機関



## 一般財団法人大阪住宅センター

大阪市中央区南船場四丁目4番3号 心斎橋東急ビル4階  
電話番号 06-6253-0071

## 一般社団法人 大阪電業協会

会長 前田 幸一

〒530-0055

大阪市北区野崎町9番8号 永楽ニッセイビル

TEL(06)6363-4077 FAX(06)6363-4079

ホームページ https://www.osdenkyo.or.jp/

一般社団法人 **日本建築材料協会**

会長 松本 将

本部 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-4-23 撞木橋ビル4F  
TEL 06-6443-0345 FAX 06-6443-0348  
支部 関東・中部・中国・四国・九州  
<http://www.kenzai.or.jp>

「サービス提供」から「価値共創」へ



一般財団法人

**日本建築総合試験所**

理事長 井上 一朗

〒565-0873 吹田市藤白台 5-8-1  
TEL 06-6872-0391 FAX 06-6872-0784  
<https://www.gbrc.or.jp>

**近畿外壁仕上業協同組合**

理事長 神農 竹夫

〒550-0011 大阪市西区阿波座 1 丁目 7 番 12 号  
TEL (06) 6533-0768 FAX (06) 6533-0784

断熱・吸音・耐火材料

**ロックウール工業会**

理事長 武井 俊之

〒111-0052 東京都台東区柳橋2-21-13 東洋ビル4F  
TEL (03) 5835-2569  
FAX (03) 5835-2570  
ホームページ: <http://www.rwa.gr.jp>

学校法人 福田学園

**OCT 大阪工業技術専門学校**  
**OHSU 大阪保健医療大学**  
**OCR 大阪リハビリテーション専門学校**

理事長 福田 益和

〒530-0043 大阪府北区天満1-9-27  
TEL 06-6352-0093 FAX 06-6352-5995  
URL <http://www.fukuda.ac.jp>



建築・インテリア・土木・造園  
建設のすべては、修成で学ぶ

学校法人 修成学園

**修成建設専門学校**

理事長 山下 裕貴

〒555-0032 大阪府西淀川区大和田5丁目19番30号  
TEL.06-6474-1644

中和で出来るこんなコト!  
**クリアファイル**

オンデマンド印刷により少量印刷も可能に!  
バリエーション印刷でナンバリングや  
名入れもできます。

ネットショップも営業中!

URL <http://www.chuwa-print.com/>

中和印刷

検索



**CHUSSA 中和印刷紙器株式会社**

〒640-8225 和歌山市久保丁4丁目53 TEL. (073) 431-4411 FAX. (073) 431-8188



少量から  
注文承ります

# 理事会報告

文責 本会事務局

日時 十二月十八日(水) 十六時〜十八時

場所 本会会議室

出席 理事三四名 監事二名 名誉会長他六名

(1) 一月の当期経常増減額は、収入三、六〇九、九一三円、支出一三、二三六、八四七円、差引△六、六二六、九三四円で、本年度累計の収支差引七、六三八、二八三円を報告して承認しました。

(2) 本会内に、府内の歴史的建造物の修復・活用や伝統的技法の伝承などを整備するため、市町村行政が設置する建築審査会の支援を行うことなどを目的として、大阪府歴史的建造物委員会を設置し、建造物の保全や活用促進に係る調査等を行います。設置要綱と発足の委員構成を承認しました。

(3) 泉佐野市特定空家撤去工事の業務委託について、市内の下瓦屋と野出町の二件に係る撤去工事の管理・調整及び工事発注等の包括的業務委託に係る協定の締結を承認しました。

(4) 第六四回大阪建築コンクリートの審査委員会の委員長及び委員構成、応募要項について承認しました。

(5) 国交省補助によるインスベクション等普及啓発事業の一環として、既存住宅の劣化・不具合に対する「建築士の所見」を建物現況調査の価値を高めるために表示します。来年四月から試験的に所見を報告書に添付する予定です。

(6) R二・R三年度の理事・監事候補者推薦の準備工程等を説明しました。

(7) 公益社団法人に対して定期的に行われる公益法人認定法に基づく府法務課による立入検査が十二月十九日に実施されることを報告しました。

# 建築相談室から四十五

答えのない・簡単に答えられない相談

文 橋本頼幸

建築相談室にかかってくる電話相談は、簡単に二言二言で回答できるケースは極稀で、そのほとんどは回答が難しいケースが多く、相談記録から、電話口で担当相談員の苦勞が垣間見えます。今回はそのような相談をまとめます。どう答えたかも限定的に記載しておりますので、みなさんもご自身への相談だったらどう回答するか、二緒にお考えください。

## 店舗賃借人からの相談

店舗の賃借人(レストランの経営者)からの相談です。三年前に開業してそのときの内装工事に不具合が多く未だに一部未完があるとのこと。床に一段差が生じていて、施工業者からは建物の側の問題を指摘されている、どうしたらいいかという相談。自身のテナント工事と建物の問題の両方が混然としたトラブルです。開発道路は使えない？

複数人で所有していた山の一部を分譲用地としてデベロッパに売却した。売却した土地を開発して道路が作られることになっているようなので、道路を使わせてほしいとデベロッパに申し入れたところ、デベロッパの担当建築士から「市から許可が出ないので使うことはできない」と言われた。道路を使うことはできないのか、という相談。

## JIS規格外のコンクリートは有効か？

建築主からの相談です。コンクリート打設でJIS規格以外のものを打設された。それを問題にしたところ、強度はある旨の証明書を出してきた。施工業者は工事を止めることなく、そのまま進めているが、契約内容とは異なるので問題ではないか？という相談。

# 揺れにまつわる相談(二件)

住宅の所有者からの相談です。市によって前面道路のアスファルト舗装の補修(やりかえ)があった。その後、木造二階建て住宅内の振動がひどくなった。どうしたらいいか？

次は工場兼事務所建築の所有者からの相談です。鉄骨二階建ての事務所で人が歩くと床が揺れる。車の通過ではそれほど揺れないが、どうしたらいいか？

## 建築士法に基づく重要事項説明は必要か？

立場は不明ですが関係する建築士からの相談です。一級建築士事務所登録もしているデベロッパだが、自社での設計はせずに、すべて外注している。デベロッパと外注先の間で、建築士法に基づく設計監理契約に関する重要事項説明は不要だといわれたが本当か？どこに相談したらいい？(二件)

## 建設業者からの相談。築五〇年の倉庫で確認申請も登記もない。リフォームにあたって耐震性能や耐震補強の相談がしたいがどこに相談したらいいか？

賃貸マンションのオーナーから、市役所から定期報告の案内が届いた、建築士を紹介してほしい、との相談。

## 袋小路・たらい回しにならないように

本会の建築相談には、市役所・消費者センター・弁護士会・他の建築相談窓口から紹介されて電話をかけてこられる方が少なくありません。したがって安易に「他所に相談を」といつてしまうとたらい回しになります。最後の定期報告の相談では「本会では紹介はできません。建築防災センターの名簿などを見てほしい」と言ったところ、相談者にどうしたらいいんだ！と怒られた」と相談記録に記載されていました。みなさんならどう対応されますか？

# 編集後記

河合哲夫

新しい年号で初めてのクリスマス、そして年越しを過ぎました。明るいつ時代の訪れを願う、令和を迎える初めてのお正月です。二〇一九年は、メンバーの若返りが進んだ建築人の編集も、新しい時代に相応しい会員情報誌のあり方について、議論の活性化を実感しました。電子媒体との共存、企画の見直し、建築人賞の運営など、課題は多くあります。

編集委員は、それぞれの本職としての設計士の仕事と、まさに「二足の草鞋」の環境下で奮闘しています。中には二足どころか、様々な分野で活躍するマルチプレーヤーのメンバーもいます。編集委員の仕事をもっとも続けていきたいと思うのは、何よりもこうした多才なメンバーたちとの交流が、自らに刺激を与えてくれることによるものが大きいと思います。

新しい年号は、新しい時代をつくろうとする人の背中を押してくれるようです。さらなる加速の予感とともに迎える二〇二〇年です。

# 建築人 1

2020

|     |                         |
|-----|-------------------------|
| 監修  | 公益社団法人大阪府建築士会<br>建築情報部門 |
| 編集  | 建築情報部門『建築人』編集部          |
|     | 部門長 飯田英二                |
|     | 委員長 高原浩之                |
|     | 編集人代表 北 聖志              |
|     | 編集人 梅田武宏 笠井志保           |
|     | 河合哲夫 茂籠一之               |
|     | 曾我部千鶴美 橋本頼幸             |
|     | 牧野隆義 三谷勝章               |
|     | 武藤優哉 若江直生               |
| 事務局 | 山本茂樹 母倉政美               |
| 印刷  | 中和印刷紙器株式会社              |



# 淡路瓦イズム

## 『黒燻瓦 (KUROIBUSHI)』

栄和瓦産業株式会社

<https://www.eiwakawara.com/>

取材：河合哲夫／建築情報部門委員

400年の歴史を持つ淡路瓦は「淡路瓦イズム」を通じ、これからの時代に社会から必要とされる瓦づくりに挑戦を続けています。今年も淡路瓦イズムを実践している会社を紹介いたします。

日本の瓦の歴史は、今からおよそ1400年前に中国から仏教とともに伝えられたことから始まると言われていました。淡路では、ほぼそれと同じ時代に既に瓦の生産が行われていたことを示す瓦窯跡が発見されています。

淡路は、なめ土と言われる肌理の細かい土で焼かれ、美しい銀色に仕上げられたいぶし瓦の産出量が日本一です。このいぶし瓦の美しい仕上がりは、瓦製造の最終工程で、無酸素状態の窯にブタンガスを封入することによって、炭化水素が熱によって分解され、炭素だけが瓦の表面に規則正しく配列される「還元反応」を起こし、表面に炭素の被膜が形成されることによって得られます。

このいぶしの技術は、その瓦の永い歴史の中ではまだ新しく、約400年と言われていています。いぶし瓦の銀色の皮膜は、光の乱反射を起こし、鈍い光沢を持つ瓦の美しい質感を生み出します。しかし、その美しい質感は、古建築や古い町並みの中では、均質で美しすぎるために不釣り合いな景観を生み出してしまふことがあります。

そこで、栄和瓦産業株式会社が、真新しいのに、まるで悠久の時間を経たかのように深い黒さを持つ質感の「黒燻瓦」を開発されま

した。

淡路瓦は、他の産地と比べると低い温度の約1000℃で焼き締められますが、この『黒燻』は、1080度まで焼き進めて生産されます。その後900度まで温度を下げたところで『燻化』。炭素膜を作り、さらに600度まで下がったところで酸素を入れて再び焼くという「二度焼き」の技術を開発することで生み出されました。高温で焼かれることにより、金属で激しく引っ掻いてもほとんど傷が付かないほどの高い硬度が得られます。また、吸水率も低いため、寒冷地の凍害や海岸地域での塩害にも高い性能を発揮するため、国内外の北部地域や沿岸地域にも市場が大幅に拡大しました。

また、そうした優れた性能に加え、年月を経て褪せることがない深みのある黒さが生む素材感は、古建築や伝統的景観地域だけでなく、モダンな現代デザインの空間にもフィットします。そこに着目して、「黒燻」の技術を活かした景観材料「黒燻レンガ」も開発されました。

厚みのある「黒燻レンガ」は、高級車やフォーマルウェア、高級革製品における「黒」がそうであるような、知的な気品の漂う緊張感を醸しています。多様なサイズのアイテムがあり、体験したことのない空間のイメージを喚起させてくれそうです。同社は、オリジナル形状による少量生産等への対応力も持たれているとのことですので、ぜひ一度相談してみてください。

### ■淡路瓦のお問い合わせ先

淡路瓦工業組合

兵庫県南あわじ市湊134

Tel.0799-38-0570 Fax.0799-37-2030

[info@a-kawara.jp](mailto:info@a-kawara.jp)

<http://www.a-kawara.jp/>





## 認定こども園 日吉幼稚園 竹原義二／無有建築工房

高槻市日吉台にある幼稚園の認定こども園化に伴う増改築計画。未開発の丘の上に園の礎が築かれてから半世紀以上が経ち、街の人口増加に伴って住宅と擁壁が建ち並び、よく見られる高台の宅地の街並みが形成されていった。街との関係を遮断していた既存の石積み擁壁は現行法基準を満たすことができず、園舎群の整備工事に際し造り替えが必要となった。子どもたちが日常的に生活する施設には、日頃から周辺とのつながりを持ち地域で子どもたちを育てる環境が必要である。今回の計画では、街との境界を緩やかに繋げて園と地域の関係を密にしていくことを意識した。高低差 5m 長さ 60m にもなる擁壁は、圧迫感を軽減するように分節し雛壇状にセットバックさせた。擁壁同士や道路との隙間に緑地帯を設け、四季折々の彩りを楽しめる植栽を計画した。擁壁の仕上げには園舎や植栽、街並みに馴染む煉瓦タイルを吟味し、色や大きさ、厚み、目地の異なる 8 種類を組み合わせ、施し景観を整えた。密集した住宅地に季節の移ろいを感じられる自然豊かな場を提供し、周辺地域の環境の向上にも貢献している。園と地域を繋ぐ坂道を心地よい緑道へと更新し未来へ遺すまちなみを創り出した。

撮影：新建築写真真部・絹巻 豊(裏表紙上)  
第 39 回大阪都市景観建築賞大阪府知事賞受賞作品

### ■プロフィール

竹原義二（たけはら・よしじ）  
1948年徳島県生まれ。1971年大阪市立大学富樫研究室を経て、石井修／美建・設計事務所勤務。1978年無有建築工房設立。2000～13年大阪市立大学大学院生活科学研究科教授。2015～19年摂南大学理工学部建築学科教授。現在、大阪市立大学大学院生活科学研究科、大阪大学大学院工学研究科、滋賀県立大学環境建築デザイン学科非常勤講師

### ■建物データ

設 計：竹原義二／無有建築工房  
施 工：株式会社藤木工務店大阪本店  
所 在 地：高槻市日吉台六番町  
用 途：幼保連携型認定こども園  
竣 工：2016年3月  
構造規模：鉄骨造一部鉄筋コンクリート造  
敷地面積：5,814.60㎡  
建築面積：2,143.90㎡  
延床面積：4,254.25㎡

